

日本物理教育学会ニューズレター 2011年11月号

●東北支部にて研究大会が開催されました

東北支部にて、10月29日(土)、宮城県仙台第二高等学校「北陵館」にて、第26回物理教育研究大会が行われました。当日のプログラムは以下の通りです。

第1部【特別講演】(10:00~12:00)

「追波湾周辺における巨大津波—現地調査と実験を通して—」

HOLITON 波力研究所 堀込 智之氏

第2部【一般講演】(13:00~14:40)

1. 「科学における『不確かさ』の概念とその取扱い—
いま物理教育に欠けているもの—」

元東北大学大学院教育情報学研究部 岩崎 信氏

2. 「定時制高校における物理教育(紹介)」

仙台市立仙台工業高等学校 笹野 義博氏

3. 「平成23年度全国理科教育大会・第82回日本理化学協会総会2011鹿兒島大会に参加して」

元宮城県泉松陵高等学校 我妻 則義氏

4. 「理科総合Aにおける放射線の授業」

福島県立福島南高等学校 穂積 裕一氏

第3部【自由討論】(14:50~16:00)

第1部の特別講演の堀込氏は、ご自身が津波で自宅を流失した被災者であり、今回の被災体験と津波被害調査結果を書籍「海に沈んだ故郷」(堀込光子氏との共著、連合出版)で11月に出版されています。

第3部の自由討論の部では、当日昼休み中に参加者から集めた意見などをもとに、これからの(小中高の連携も含めた)物理教育と、それをふまえた支部の活動の活性化について話し合いました。今後の活動については、「課題研究」を設定して取り組んではどうかなどの案なども出され、短時間ながら活発に意見交換をすることができました。



写真 堀込氏の特別講演

●中国四国支部にて共催行事がいくつか開催されました

中国四国各地では、この秋、日本物理教育学会が後援している「青少年のための科学の祭典」などの企画がいくつかありました。

広島では、「青少年のための科学の祭典第17回広島大会」が10月29日(土)~30日(日)に広島市子ども文化科学館にて開催されました。サイエンスショーと47組の出展があり、大盛況でした。

香川では、「第19回かがわけん科学体験フェスティバル」が11月12日(土)~13日(日)に開かれ、29のブース出展と主催団体の一つである日本学術会議のミニ講演が香川大学を会場に行われ、「科学の体験」をする子ども達の歓



写真 かがわけん科学体験フェスティバル 会場の風景

声がやみませんでした。

岡山では、11月19日、20日の二日間にわたって、「青少年のための科学の祭典倉敷大会」がライフパーク倉敷で開催されました。今年は緊縮財政で35ブースの出席参加でしたが、岡山県下の高校による研究発表会等も行なわれ、どのブースも盛況でした。初日が嵐だったにもかかわらず、2日で10350人の参加者がありました。

その他に、島根や山口、愛媛では実施済ですが、11月27日徳島、12月4日高知と続きます。(11/26現在)



写真 倉敷大会の小さな音を聞いてみよう！ブースでは手作り聴診器に挑戦の様子

●北海道支部にて支部企画「物理教育研究会」が開催されます

北海道支部の主催による「物理教育研究会」が2011年12月10日(土)13時00分～17時30分に、北海道大学(理学部5-2-06教室)にて開催されます。当日は、加藤幾芳氏(北海道大学大学院理学研究院)による招待講演「ラザフォードによる原子核発見から100年」や、原著講演、ミニ模擬授業(新科目『物理基礎』を意識した授業の提案)、全体討論(『物理基礎』の登場～みんなで授業をデザインしよう!)といった内容が予定されています。

キュリー夫人がラジウム・ポロニウムの発見でノーベル化学賞を受けた1911年、ラザフォードにより原子核が発見され、原子模型の提出がなされました。招待講演では、原子核研究の端緒となったラザフォードの研究と、その後の原子核研究の進展についてお話いただきます。

詳しい問い合わせは札幌旭丘高校 横関直幸氏(E-mail: yokozeki@dg7.so-net.ne.jp, @は@に直してください)をお願いいたします。

●北海道支部にて「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会」が開催されます

東京や福岡、新潟で開催されている「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会」が北海道支部の主催にて2012年1月10日(火)に開催されます。場所は札幌北高等学校にて、時間は12時50分～17時00分を予定しています。参加費は無料です。

内容は、高校物理の基本実験について1テーマ40分程度で実験実習を行うもので、参加者はいくつかの班に分かれ、班ごとのローテーションで6テーマすべてについて実習を行います。

【予定されている実験テーマ】

回折格子による波長の測定実験、弦の定常波の実験、水面波の実験

力学的エネルギー保存則の検証実験、はく検電器を用いた静電気の実験、重力加速度の測定実験

申込み方法は、「物理実験講習会参加希望」と明記のうえ、12月14日(水)までに下記連絡先へe-mailにて、「学校名」と「お名前」をお知らせください。詳しい問い合わせも下記連絡先へお願いいたします。(e-mailが使用できない場合はFAXをご利用下さい。)

連絡先 横関 直幸 氏(札幌旭丘高等学校)

FAX 011-561-1061 E-mail: yokozeki@dg7.so-net.ne.jp (@は@に直してください)

*次号は12月末日に発行予定です。ニューズレターで、広報したい本部・支部行事、共催行事などありましたら、12月15日までに学会事務局へメール(henkou-phyedc29@trad.ocn.ne.jp, @は@に直してください)にてご連絡ください。ただし、掲載の適否については編集委員会で審議させていただきます。

ます.

編集後記

先日、学会賞や日本物理学会年次大会講演締切について、号外を発行しました。記事の速報性の観点から発行しましたが、まだ流動的なものとなっております。ご了承ください。

(長谷川)

発行：日本物理教育学会会長 高橋 憲明 編集：日本物理教育学会ニューズレター編集委員会 発行日：2011年11月30日
